

編集後記

東京の国立新美術館で開かれていた「イメージの力——国立民族学博物館コレクションにさぐる」展が先日閉幕した。2月から6月までのあいだに6万人を超す入場者があったらしい。展示会場で販売されていた図録、みんぱくの展示ガイド、『月刊みんぱく』の関連バックナンバーの売り上げも好調であった。実行委員の一人として展示や編集に関わってきた者としては、つくったものを多くの人が見てくださるのは、やはり嬉しい。

東京でのお役目を果たした所蔵品は無事みんぱくに里帰りしてきた。2000平米の真っ白なアート空間で3カ月間すまし込んでいたモノたちは、9月11日に当館での特別展として開幕するまで、ちょっと一休みである。しかし展示準備の方はまた忙しくなってきた。ポスターデザインを新調し、特別展示館に合わせてレイアウト図面を引きなおす。イベントの企画も着々と進んでいる。小誌9月号の関連特集の原稿も、今まさに編集途中である。

新美術館とはまったく違う空間で、同じコレクションがどう見えるか、えうご期待。

(山中由里子)

みんぱくをもっと楽しみたい 人のために——会員制度のご案内

国立民族学博物館友の会

本館展示の無料入館や特別展示の観覧料割引にくわえ、『月刊みんぱく』や会員機関誌『季刊民族学』などの定期刊行物や、毎月の友の会講演会、セミナーなどを通して多様な文化の情報を提供しています。

みんぱくフリーパス

1年間、本館展示へ何度でも無料で入館いただけます(特別展示は観覧料割引)。他にも、みんぱくを楽しむための特典がいっぱいあります。

国立民族学博物館キャンパスメンバーズ

みんぱくと大学等教育機関との連携を図り、文化人類学、民族学にふれる学びの場を提供することを目的とした会員制度です。

詳細については、一般財団法人千里文化財団までお問い合わせください。
(電話06-6877-8893 / 平日9:00～17:00)

●表紙：喰籠(じきろう) 沈金牡丹唐草 標本番号 H0275295 地域：沖縄県那覇市

次号の予告

特集

多みんぞくニホン

※みんぱくウィークエンド・サロンの情報は、13ページに移りました。

月刊みんぱく 2014年7月号

第38巻第7号通巻第442号 2014年7月1日発行

編集・発行 人間文化研究機構 国立民族学博物館
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1
電話 06-6876-2151

発行人 池谷和信
編集委員 山中由里子(編集長) 櫻永真佐夫 河合洋尚
庄司博史 菅瀬晶子 丹羽典生 丸川雄三
編集アドバイザー 山内直樹
デザイン 宮谷一 長岡綾子
制作・協力 一般財団法人千里文化財団
印刷 能登印刷株式会社

*本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館広報係にお願いします。
*本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

交通案内

- 大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分。
- 阪急茨木市駅・JR茨木駅から近鉄バスで「日本庭園前」下車、徒歩約15分。
- 乗用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある民博専用通行口をお通りください。
- タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れてきます。

みんぱくホームページ

<http://www.minpaku.ac.jp/>

みんぱくフェイスブック

<http://www.facebook.com/MINPAKU.official/>

みんぱくツイッター

<http://twitter.com/MINPAKUofficial>

